

看護学科

教育目的、目標・方針

保健、医療、福祉を取り巻く環境の変化や人々のニーズの多様化を踏まえ、看護師には、知的・倫理的側面や専門職として望まれる高度医療への対応、生活を重視する視点、予防を重視する内容及び看護の発展に必要な資質や能力が求められる。そのため、看護基礎教育については、チーム医療の推進や他職種との役割分担・連携の進展が想定される中、看護に必要な知識や技術を習得し、最善の看護を提供できる人として成長していくような教育が必要となる。

本校では教育理念に基づき、地域の健康の担い手として活躍できる質の高い看護師を育成することを責務とする。

目的

生命の尊厳と人間愛を基盤に、豊かな人間性を養い、高い倫理観の基に専門職業人を育成する。更に科学的根拠に基づいた知識・技術が看護の対象に的確に実践・支援ができる基礎的な看護実践能力を育成する。

目標

1. 感性豊かな教養と高い倫理観を身につけ、生活者としての人間を理解する基礎能力を養う。
2. 看護実践に必要な科学的思考及び看護の基本的技術を身につけ、人間関係を基盤として、健康上の課題を解決する基礎能力を養う。
3. 変化する社会情勢に応じて、保健・医療・福祉チームの中で主体的、協同的に看護の役割を果たすための基礎能力を養う。
4. 専門職者として自己の能力を評価し、自己成長していける基盤を養う。
5. 将来、幅広い社会的活動や国際的な視野にたつて活動できる基礎的能力を養う。

方針

「ディプロマポリシー」

3年間のカリキュラムを修了することで看護師の以下の要件を満たすと考える。

- 1) 基礎的な専門知識と技術を身につけ、科学的で倫理的な判断のもとで看護実践ができる人
- 2) 人の生き方や価値観が尊重でき、感性豊かに対象への援助的な関わりができる人
- 3) 多職種と連携・協働ができる人
- 4) 対象の健康上の課題解決を図る基礎的能力をもつ人
- 5) 対象の健康の保持・増進に寄与する研究的姿勢をもつ人
- 6) 専門職者として自己の能力を評価し、自己成長していける人

「カリキュラムポリシー」

- 1) 看護を実践する能力を育成する
- 2) 対象を理解し協働する能力を育成する

「アドミッションポリシー」

- 1) 人を愛し、感謝がもてる人
- 2) 医療に関心があり、医療専門職に強い思いがある人
- 3) チームワークに必要な協調性をもてる人
- 4) やさしさと思いやりがあり、仲間と協働ができる人
- 5) 社会・地域貢献に関心をもてる人
- 6) 挨拶、言葉遣い、日常生活習慣を身につけている人
- 7) 自己学習力があり、自己研鑽ができる人
- 8) 自己の健康管理ができる人

取得資格

看護師国家試験受験資格、保健師学校・助産師学校受験資格、4年制大学編入学資格、

就職分野

病院、診療所、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、社会福祉施設等

付与される称号

専門士（医療専門課程）